



CONCERT VIBRAPHONES

YV1605 YV1605J

取扱説明書

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

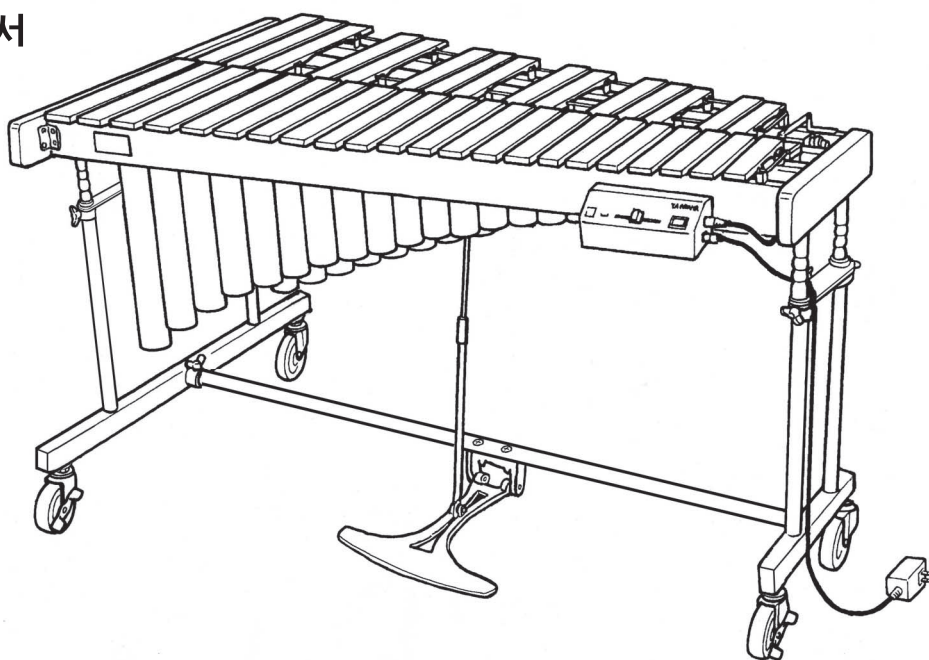
Mode d'emploi

Manual de instrucciones

Руководство пользователя

使用手冊

사용설명서



日本語

English

Français / Deutsch

Русский / Español

한국어 / 中文

『安全上のご注意』を必ずお読みください。

Make sure to read "Safety Precautions" and "Cautions when using the instrument".

Lesen Sie unbedingt die „Vorsichtsmaßregeln“ und die „Vorsichtshinweise zum Gebrauch des Instruments“.

Ne manquez pas de lire les sections « Précautions à observer » et « Précautions d'utilisation de l'instrument ».

Lea sin falta las "Precauciones de seguridad" y las "Precauciones para la utilización del instrumento".

Обязательно прочтите разделы "Меры безопасности" и "Меры предосторожности при использовании инструмента".

务请阅读“安全注意事项”和“使用乐器时的注意事项”。

“안전 주의사항” 및 “악기를 사용할 때의 주의사항”을 반드시 읽어 주십시오.

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。



■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。





	警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。


警告

分解禁止



-  コントローラーやドライバーを分解したり、改造したりしないでください。
火災、感電の原因となります。
-  修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。
必ずお買い上げの販売店に相談してください。


取り扱い


-  キャスターやペダルの下、高さ調節部のすき間などの可動部分には、絶対に手や足を入れないでください。
はさまれて大けがをするおそれがあります。
-  回転中のファンに触れないでください。
手をはさまれることがあります。
-  次のような場所での使用や保存はしないでください。
火災、感電の原因となります。
 - 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近くなど）
 - 水気の近く（風呂場、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - 雨水のかかる場所
 - ホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
-  楽器のまわりで遊ばないでください。
身体をぶつけてけがをするおそれがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ぶ場合は、必ず注意してください。

-  楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。
楽器が倒れて、大けがをすることがあります。



電源 / 電源アダプター

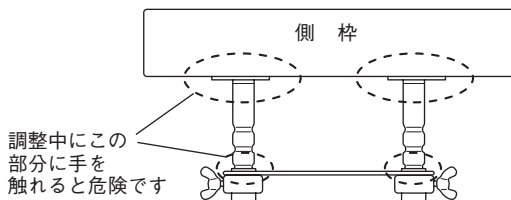
-  電源アダプター使用時、電源アダプターの電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。
100V以外では火災、感電の原因となります。
-  電源アダプター使用時、電源アダプターの電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。
電源コードに傷がつき、火災、感電の原因となります。


-  ドライブユニットに、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。
火災、感電の原因となります。


-  次のような場合は、直ちに電源を切って電源アダプターなどを取り外し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - 電源アダプターの電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物がドライブユニットの内部に入ったり、液体がこぼれたとき
 - ドライブユニットが（雨などで）濡れたとき
 - ドライブユニットに異常や故障が生じたとき

運搬/設置

-  楽器を移動するとき以外は、必ずキャスターのストッパーを左右2ヶ所ともかけてください。
楽器が移動したり倒れたりして、けがの原因となります。
-  高さ調整の際に、下図の部分に触らないでください。
手をはさむなどして危険です。
必ず側枠を持って高さ調整をしてください。



-  楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

-  キャスターを利用した移動は、滑らかな平坦面でのみ行なってください。
側枠の上部をささえ、間口の方向へゆっくりと押してください。

キャスターを利用して移動する時には

- 傾いた所や凹凸のある道、じゃり道は避けてください。
楽器が倒れたり暴走したりして危険です。
- 走らないでください。楽器が止まらなくなると、壁にぶつかるなどして大けがをすることがあります。

- !** 持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運んでください。
- ※ビブラフォンの質量
YV1605J: 40.5kg

電池

- ⊘** 使い捨てタイプの電池は充電しないでください。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。
- ⊘** 電池からもれ出た液には直接触れないでください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、専門の医師にご相談ください。

⚠ 注意

組立

- !** 分解/組立の手順は、必ず本取扱説明書の「組立手順」の通りに2人以上で行なってください。誤った手順で組み立てると、機能が十分に働かなかったり、雑音発生の原因になったりします。
- !** 脚部のネジは、必ずくびれ位置で止めてください。くびれ位置以外でネジを止めると、スライド脚がすべて危険ですので、絶対におやめください。
- !** 脚部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。ゆるんだ状態で使用すると演奏中に楽器がずれたり、雑音が出たり、トラブルの原因になります。またこれらのネジは時々締め直してお使いください。

取り扱い

- ⊘** 楽器の上にものをのせないでください。音板や枠を傷める原因となります。
- ⚠** 正常な通気が妨げられることのない所で使用してください。
- ⊘** マレットは演奏目的以外には使用しないでください。けがや事故の原因となります。お子様が人の身体をたたくなど、危険な行為をしないように注意してください。
- ⊘** 音板をグロックン用マレットや、その他の硬いものでたたかないでください。音板にへこみやキズができたり、音律が狂う原因ともなります。
- ⊘** コントローラーやドライバーは乱暴に取り扱わないでください。内部回路などに支障をきたすおそれがあります。
- !** 音板のお手入れには、乾いた柔らかい布やシリコンクロスをご使用ください。汚れが取れないときは、柔らかい布にエチルアルコールを少量含ませてご使用ください。シンナーやベンジン、濡れぞうきんなどは絶対に使わないでください。音板の表面塗装を侵すなど、楽器を傷める原因となります。
- ⚠** 劣化した摩耗部品の交換は、お買上げ店へご相談ください。スイッチ・ボリューム・接続端子などの部品は、使用とともに性能が劣化するために“摩耗部品”といわれています。劣化の進行度合は、使用環境などによっても大きく異なりますが、劣化そのものを避けることはできません。

電源 / 電源アダプター

- ⊘** 電源アダプターの電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
- ⚡** 長時間使用しない場合は、電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⚠** 必ず付属の電源アダプター（あるいはバッテリーユニット）をお使いください。他の電源による障害は、保証期間内でも保証できない場合もございますので、十分ご注意ください。

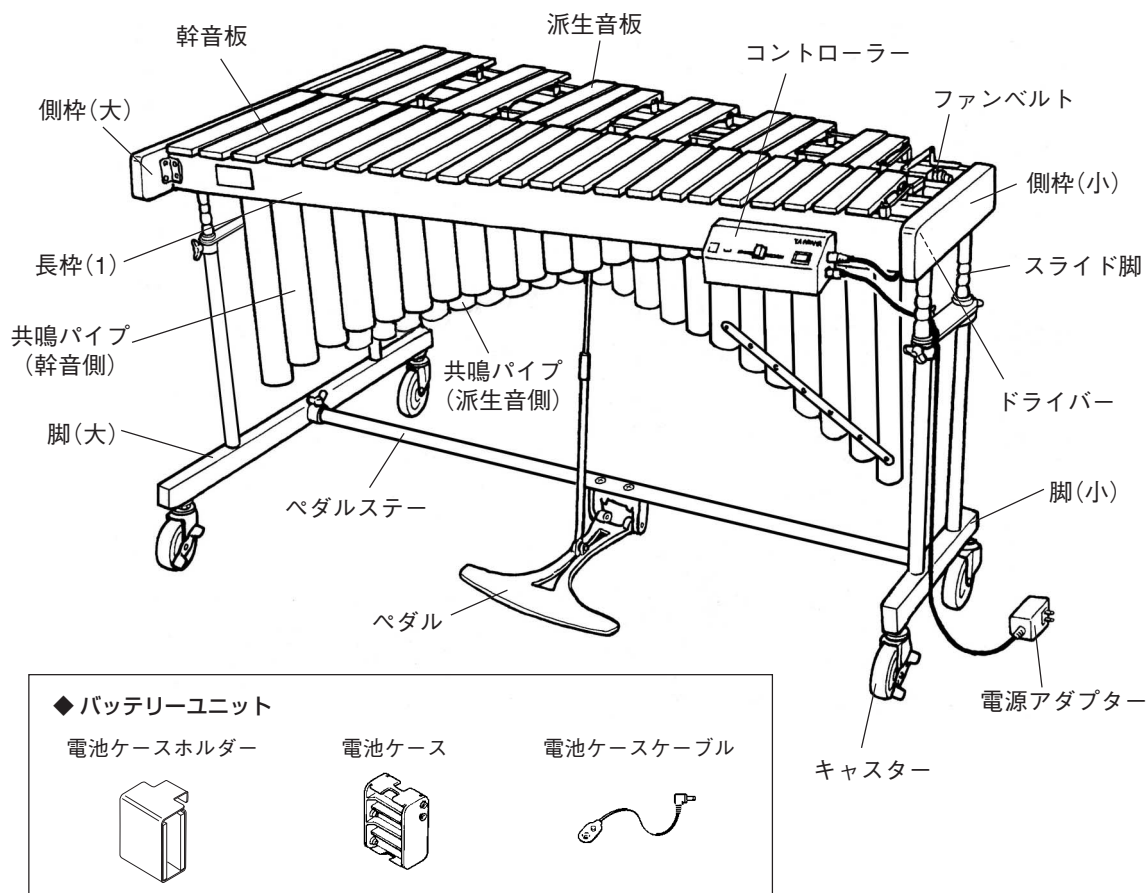
運搬・設置

- ⚠** 打面の高さ調整（21ページに記載）は、必ず2人以上で行なってください。1人で行なうと楽器が倒れるなどして危険です。
- ⚠** 脚部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。ゆるんだ状態で使用すると演奏中に楽器がずれたり、雑音が出たり、トラブルの原因になります。またこれらのネジは時々締め直してお使いください。
- !** ご使用にならないときは、必ずキャスターのストッパーをかけておいてください。
- !** 移動の際には、必ず電源コードを外してから行なってください。コードを傷めたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
- !** 移動の際にはキャスターのストッパーが解除されていることを確認してください。また、平らな床面以外では、少し持ち上げるようにしてください。安定して移動することができます。
- !** 車で運ぶ場合は、すべて分解し、しっかり梱包してください。はだかのまま移動すると、楽器が傷つく原因となります。分解は、組立と逆の手順で行なってください。
- !** 移動の際は、衝撃を与えないように静かに運んでください。楽器が破損する原因となります。

電池

- ⊘** 指定以外の電池は使用しないでください。また、種類が異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。
- ⊘** 電池を加熱、分解したり、火や水の中に入れたりしないでください。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。
- ⊘** 電池をお子様の手が届くところに置かないでください。誤飲など、事故のおそれがあります。
- !** 電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れてください。間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。
- !** 長時間使用しないときは、電池ケースから取り外しておいてください。電池が液もれするおそれがあります。
- !** 使い切った電池はすぐに電池ケースから取り外してください。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。
- !** 使い切った電池は自治体の条例または取り決めに従って廃棄してください。

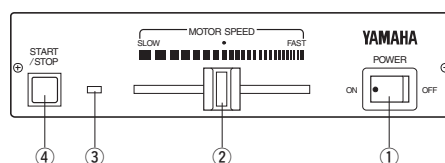
各部の名称



■ ビブラフォン・ドライブユニット

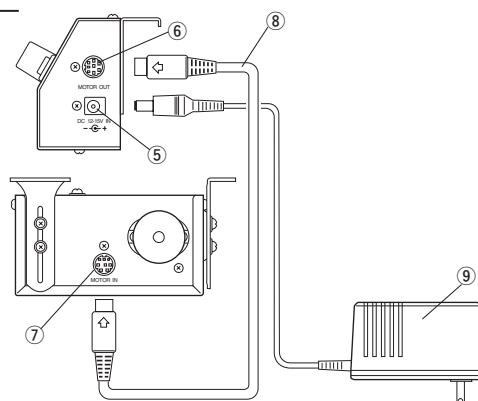
- ① 電源スイッチ (POWER)
電源のオン/オフを切り替えます。
- ② スライドボリューム (MOTOR SPEED)
ファンの回転スピードを調節します。
- ③ LEDランプ
電源オンで点灯します。ファン回転中は点滅します。
- ④ スタート/ストップボタン (START/STOP)
ファンの回転をオン/オフします。
- ⑤ 電源端子 (DC 12-15V IN)
- ⑥ モーター出力端子 (MOTOR OUT)
- ⑦ モーター入力端子 (MOTOR IN)
- ⑧ 8p-DINケーブル
- ⑨ 電源アダプター

● コントローラー (奏者面)



● コントローラー (右側面)

● ドライバー (奏者面)

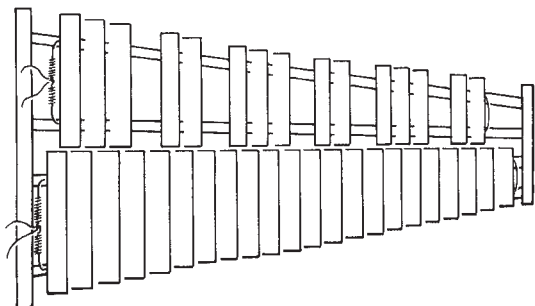


部品の確認

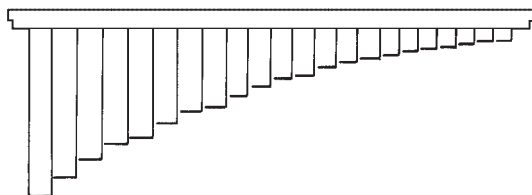
YV1605Jの梱包箱の中には、以下の部品が入っています。
組み立ての前に、すべての部品がそろっていることを確認してください。

※部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

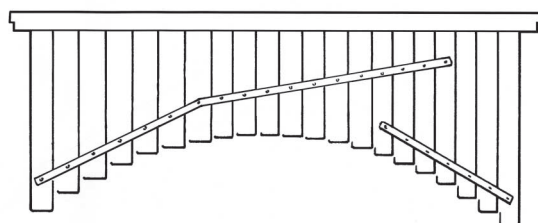
① ビブラフォン本体×1



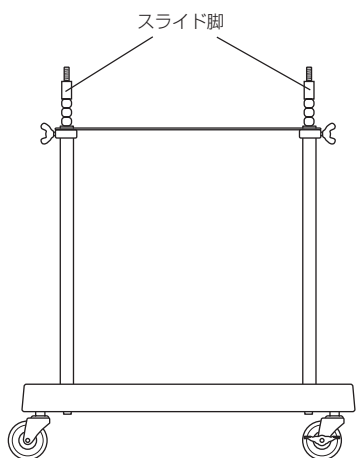
⑤ 共鳴パイプ(幹音側)×1



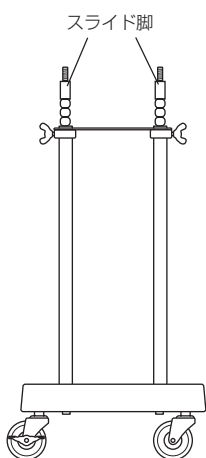
⑥ 共鳴パイプ(派生音側)×1



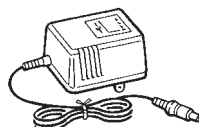
② 脚(大)×1



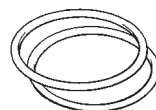
③ 脚(小)×1



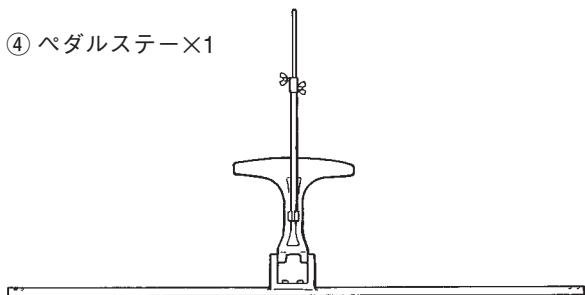
⑦ 電源アダプター×1



⑧ 丸ベルト
(ファンベルト)×2

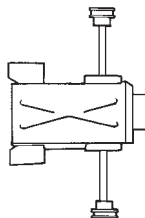


④ ペダルスター×1

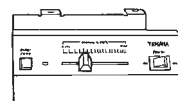


ビブラフォン・ドライブユニット：YVM-200

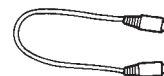
⑨ ドライバー×1



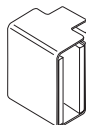
⑩ コントローラー×1



⑪ 8p-DINケーブル×1



⑫ 電池ケースホルダー
×1



⑬ 電池ケース
×1



⑭ 電池ケース
ケーブル×1

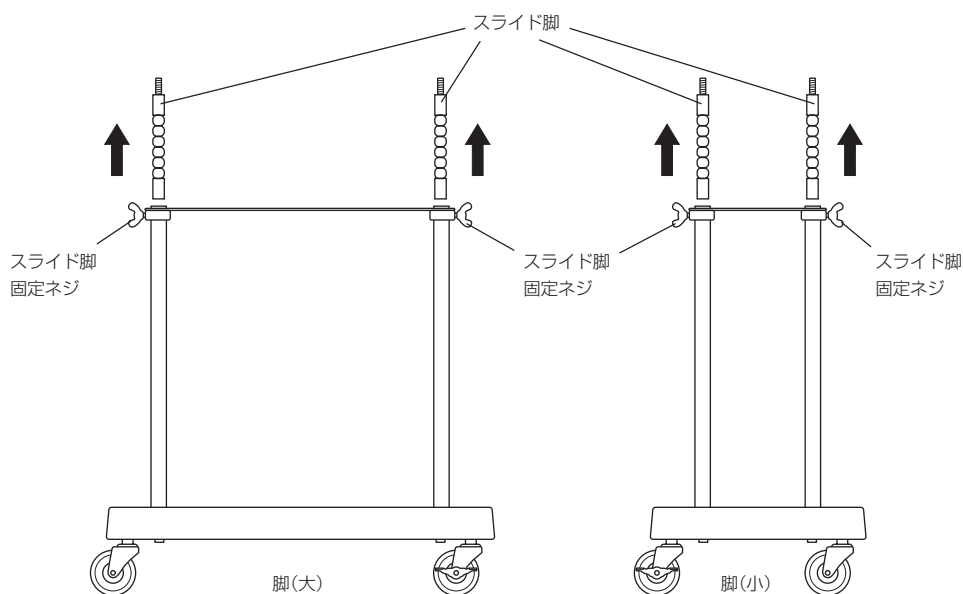


※ 電池は別売りです。

組立手順

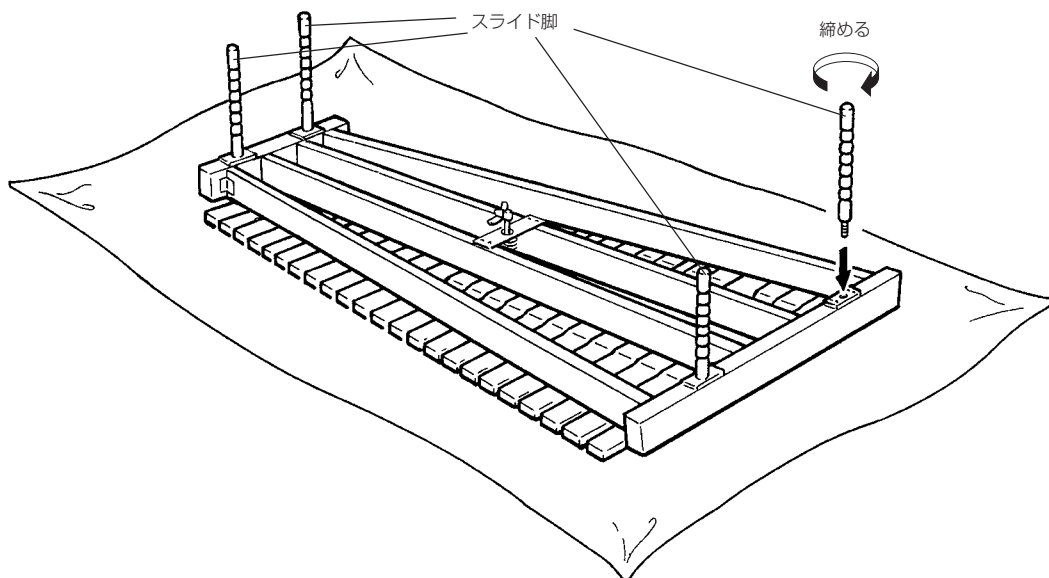
安全のために、組み立ては2人以上で、十分スペースのある場所で行なってください。
音板を傷つけないように、じゅうたんや柔らかい布などを敷いた平らな場所で作業してください。

- 1 脚(大)、脚(小)のスライド脚固定ネジをゆるめ、スライド脚4本を抜き取ります。

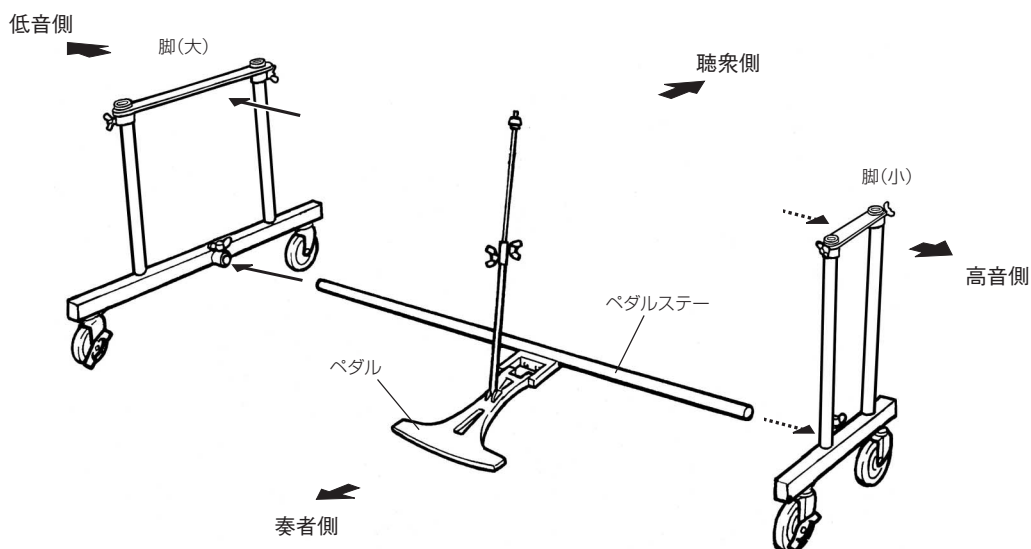


- 2 ビブラフォン本体を、底面を上にして床に置きます。

- 3 本体底面のネジ穴に、スライド脚をそれぞれねじ込んで取り付けます。(スライド脚は、4本とも共通です。)

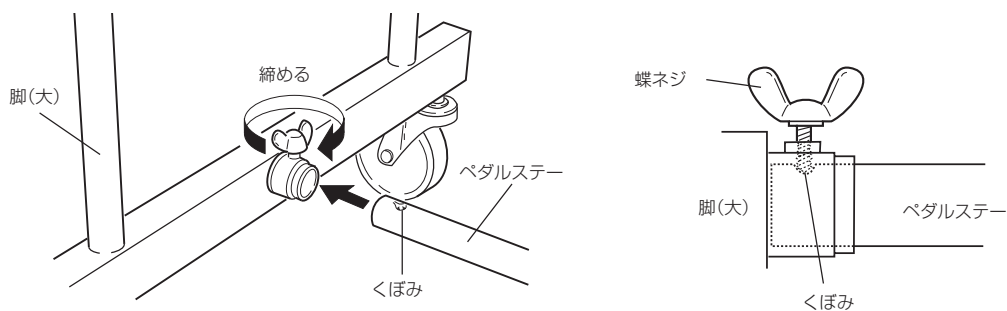


- 4 組み立てたときに下図の位置関係になるように、脚(大)、脚(小)、ペダルスTEEを配置します。



- 5 脚(大)と脚(小)を、ペダルスTEEでつなぎます。

脚(大)の連結用穴に、くぼみを上面にして、ペダルスTEEを止まるまで差し込み(この位置で蝶ネジの先端がスTEEのくぼみ部分にきます)、蝶ネジを締め付けて固定します。

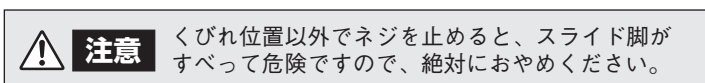
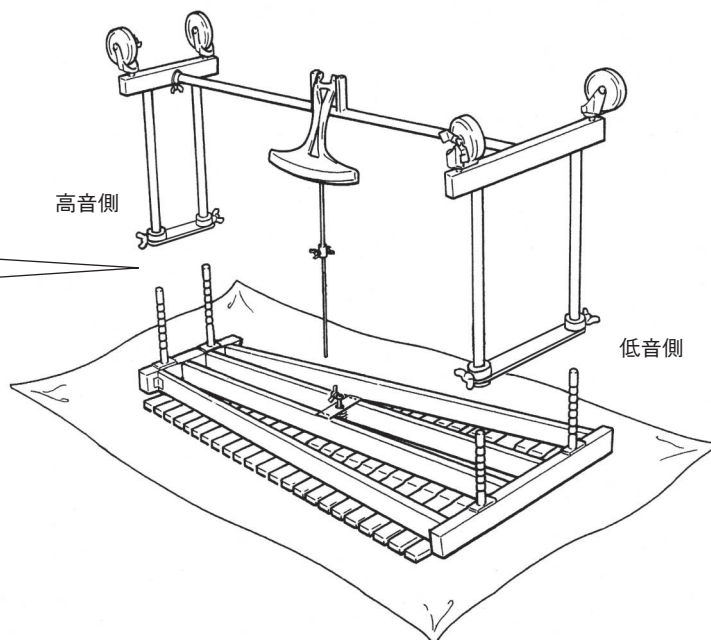
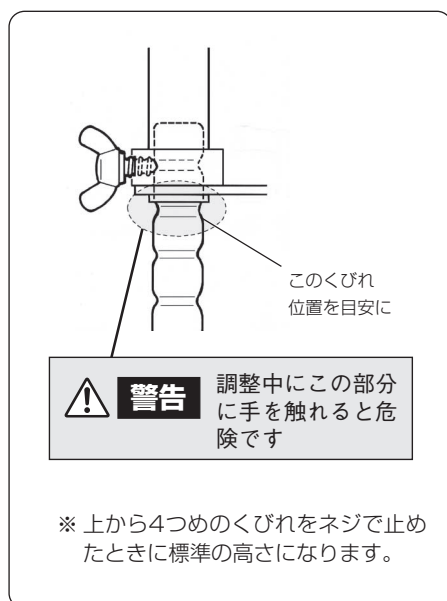


- 6 脚(小)側も同様にして、ペダルスTEEと接続します。

7 スライド脚と脚とを接続します。

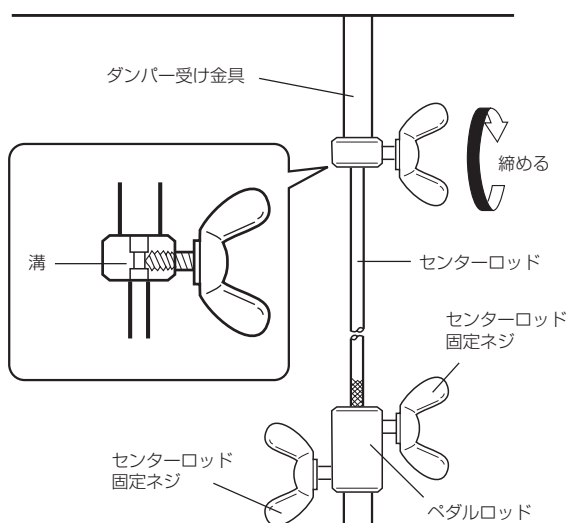
脚の穴にスライド脚がそれぞれ入るように、真上から脚を差し込みます。

希望する高さに合わせて、スライド脚のくびれ部分を蝶ネジでしっかりと締め付けます。ひとつ上のくびれの位置を目安にして締め付け位置を調整してください。



8 センターロッドを接続します。

脚を固定したら、センターロッド固定ネジをゆるめてセンターロッドをのびし、ダンパー受け金具へ差し込みます。蝶ネジの先端がセンターロッドの溝部分にはまるように、しっかりと締めて固定します。

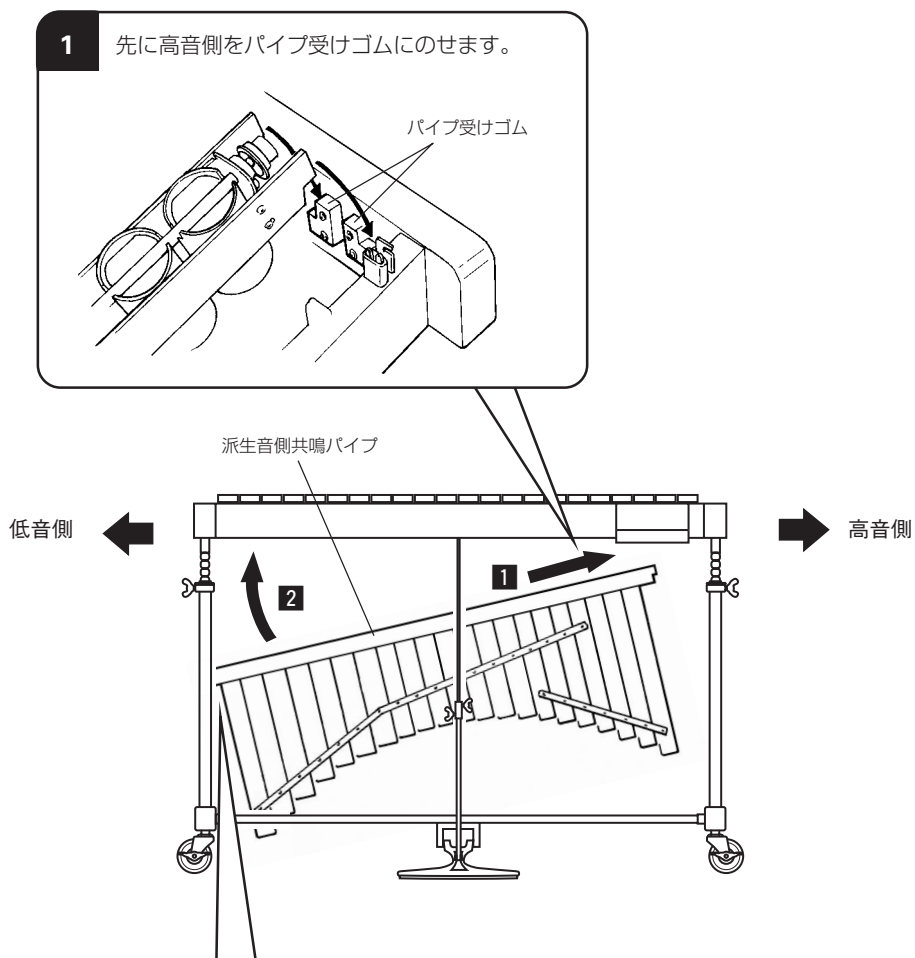


9 共鳴パイプを取り付けます。

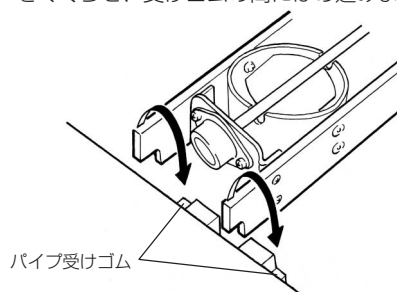
ビブラフォン本体を起し、長枠の下側から共鳴パイプを差し込み、パイプ受けゴムの上にのせます。
先に高音側をのせた後、低音側をのせます。

※幹音側、派生音側を間違えずに取り付けてください。

※共鳴パイプを脚などに当てないように、注意してください。

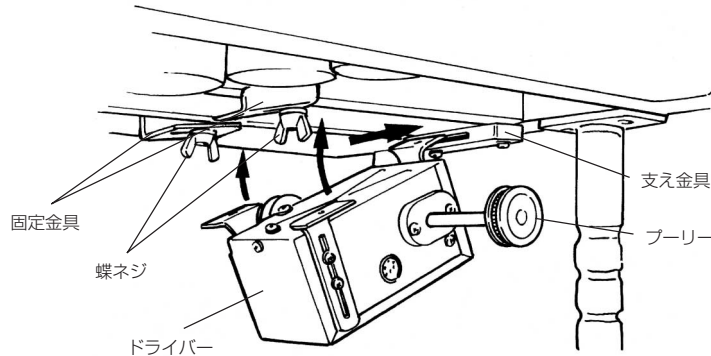
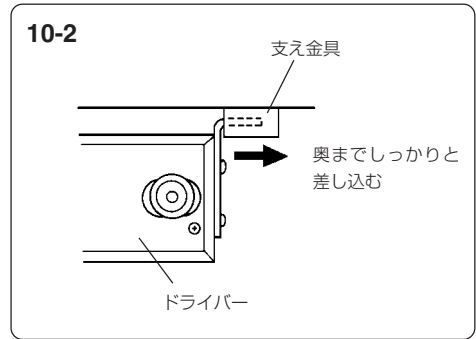
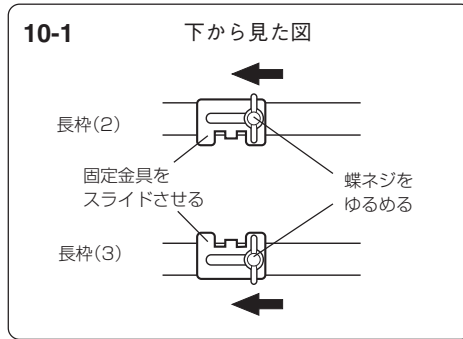


2 低音側をはめる際には図のように中央のすきまをくぐらせ、受けゴムの間にはめ込みます。



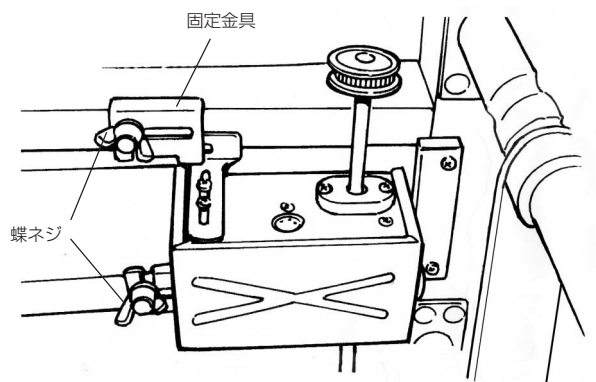
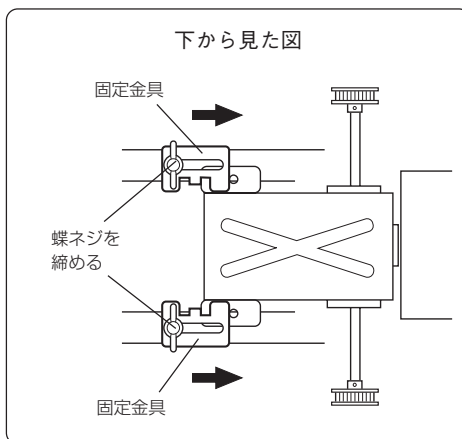
10 ドライバーを取り付けます。

- 10-1 長枠(2)、(3)の下面高音側に付いている蝶ネジをゆるめ、固定金具を2つとも低音側にスライドさせます。
- 10-2 支え金具にドライバーを奥までしっかりと差し込みます。



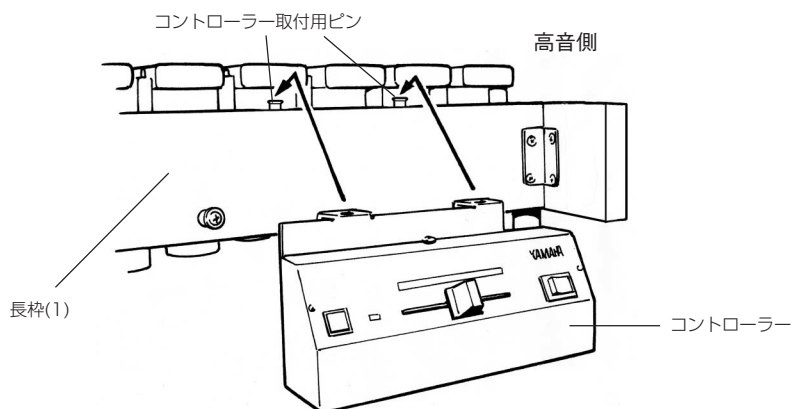
- 10-3 手順 10-1でスライドさせた固定金具を2つとも高音側へスライドさせ、ドライバーの取付金具をしっかりとフックした状態で、蝶ネジを締め付けてドライバーを固定します。

※ドライバーの左右のプーリーがファン側プーリーの真下に来るように取り付けます。



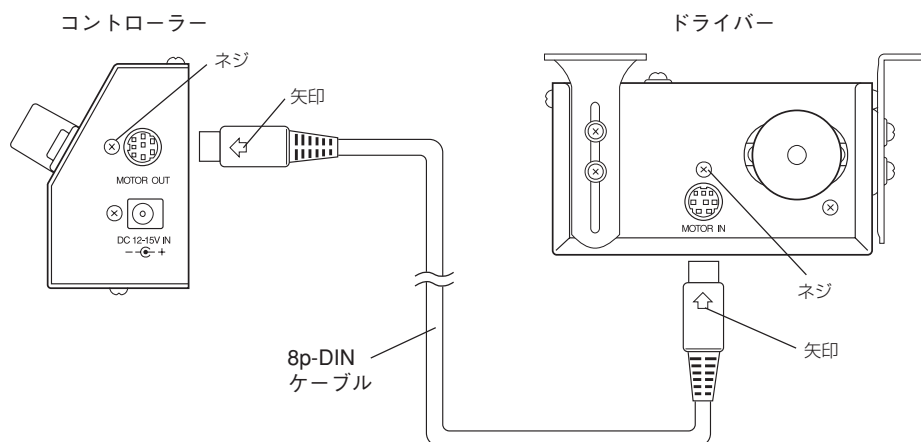
11 コントローラーを取り付けます。

脚(大)の連結用穴に、長棒(1)の高音側上面にコントローラー取付用ピン(2本)があります。このピンに、コントローラーの2つの穴を合わせて片側ずつはめ込みます。



12 ドライバーとコントローラーとを接続します。

ドライバーのMOTOR IN端子とコントローラーのMOTOR OUT端子とを、付属の8p-DINケーブル*で接続します。ケーブルのプラグ部分の矢印(ㄷ)が各端子のネジ側に向くようにして、接続します。



※ 8p-DINケーブルを紛失された場合は、以下のNo.にてご注文ください。

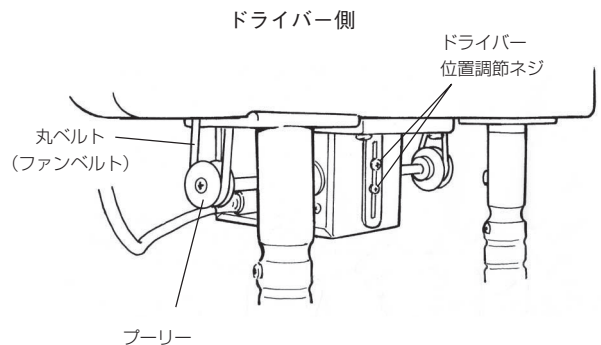
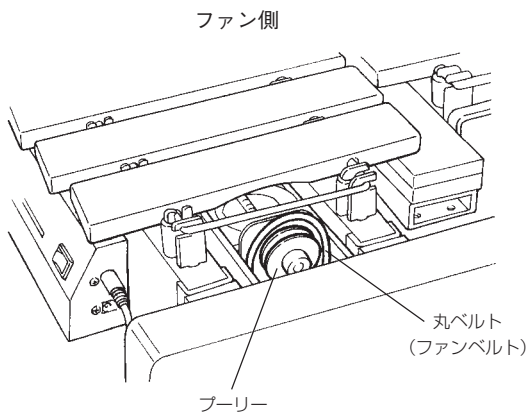
Part No.	部品名称	仕様
W5172200	8p-DINケーブル	L=220

13 丸ベルト(ファンベルト)*を取り付けます。

まずファン側プーリーに丸ベルト(ファンベルト)をかけます。
次にドライバー側プーリーにねじるようにしてかけます。

※サービスを実施される方へ

プーリーの間隔が広すぎてベルトがかからない場合や、逆に間隔がせまくてベルトが空回りする場合は、ドライバー位置調節ネジ(下図)2本をゆるめてベルトの張り具合を調節してください。調節後は、しっかりとネジを締めておいてください。

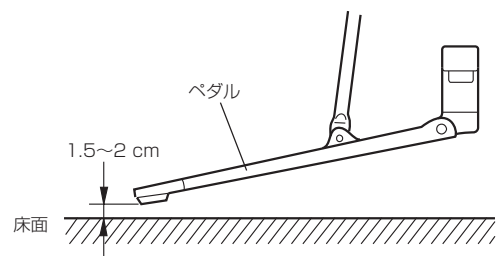


※ ファンベルトを紛失された場合は、以下のNo.にてご注文ください。

Part No.	部品名称	仕様
W5128070	ファンベルト	3マルL236

14 ペダル踏みしりを調整します。

センターロッド固定ネジをゆるめ、センターロッドの長さを調整してから再び固定ネジを締めて、ペダルの踏みしりを調整します。ペダルと床面の間は1.5～2cmが適当です。



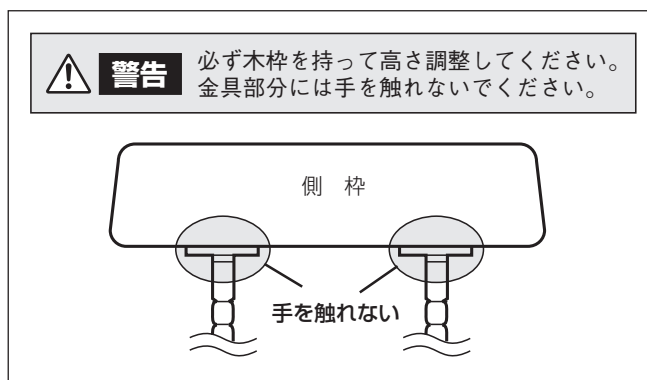
15 すべての組み上げたら、各部のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

16 音板高さを調整します。

⚠ 注意 音板高さの調整は、必ず2人以上で行なってください。

必ず丸ベルト(ファンベルト)、ドライバー、コントローラー、音板*、共鳴パイプをはずし、センターロッド固定ネジをゆるめておきます。(*音板は、低音側のバネをはずし、ひもを吊金からはずしてとります。) その状態で、高音側、低音側ともに、側枠の下を手で支えながら(金具部分には手を触れないこと)、スライド脚を固定している蝶ネジをゆるめます。

希望する高さに合わせて、スライド脚のくびれ部分を蝶ネジでしっかりと締め付けます。ひとつ上のくびれの位置を目安にして締め付け位置を調整してください。(8ページ **7**参照)



⚠ 注意 くびれ位置以外でネジを止めると、スライド脚がずべて危険ですので、絶対におやめください。

17 以上で本体の組立は完了です。

続いて、付属の電源アダプター(PA-3C)をコントローラーの電源端子(DC 12-15V IN)に接続します。

電源の準備

ビブラフォンドライブユニットは、電源として家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

● 家庭用コンセントから電源をとるときは

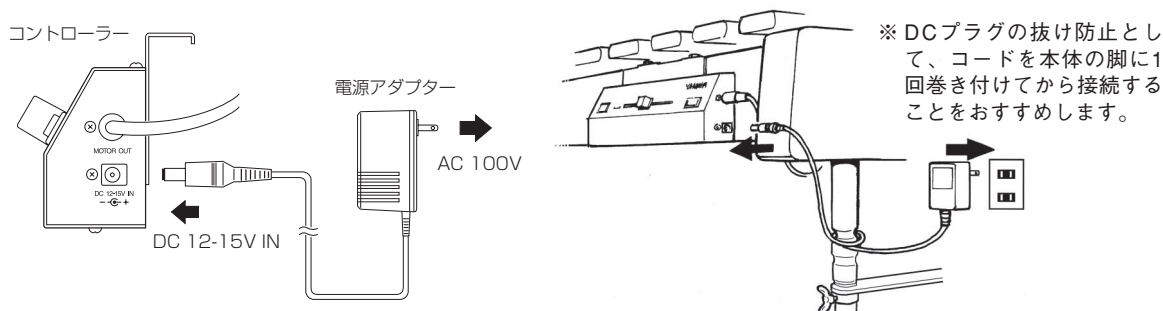
付属の電源アダプター(PA-3C)を用意します。



注意

※ 必ず付属の専用電源アダプター(PA-3C)をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障の原因となります。このような場合の故障は、保証期間内でも保証いたしかねます。

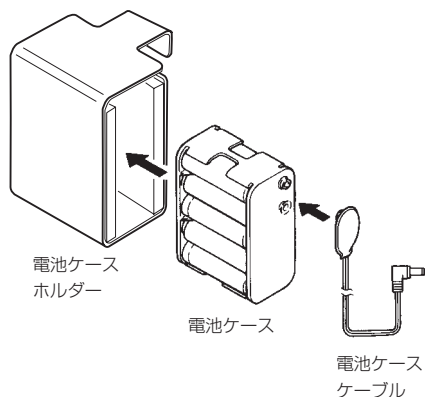
- 1 電源アダプターのDCプラグをコントローラーの電源端子(DC 12-15V IN)へ差し込みます。
- 2 電源アダプターのACプラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。



● 乾電池を使うときは

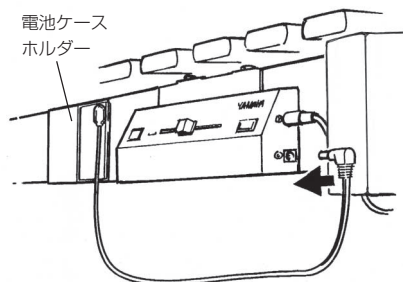
付属の電池ケース、電池ケースホルダー、電池ケースケーブルと市販の乾電池(単3乾電池)を10本用意します。

- 1 市販の乾電池(単3乾電池)を電池ケースに10本入れます。
電池ケース内側のイラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 2 電池ケースを電池ケースホルダーに挿入します。
- 3 電池ケースケーブルを電池ケースに接続します。
- 4 コントローラーの左隣に電池ケースホルダーをセットします。
- 5 電池ケースケーブルのDCプラグをコントローラーの電源端子(DC 12-15V IN)へ差し込みます。




注意

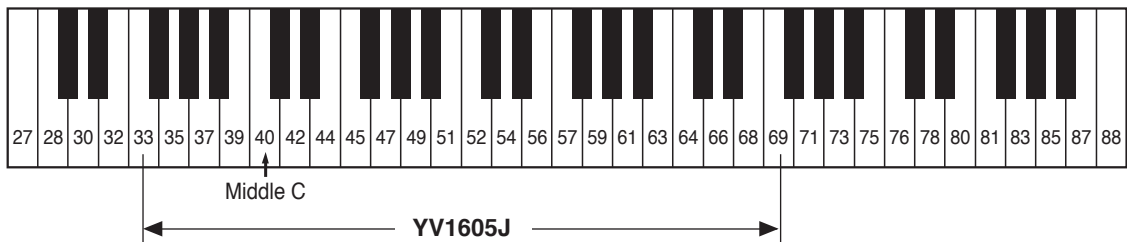
- ※ 乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。
電池が少なくなると、ファンの回転スピードが遅くなったりストップする場合があります。
- ※ 誤った使い方は乾電池の破裂や液漏れを引き起こし、ケガや汚損の原因となります。以下の注意事項を守って、正しくお使いください。
- ・ 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しない。
 - ・ 異なった種類やメーカーの電池を混ぜて使用しない(たとえば、アルカリとマンガンなど)。
 - ・ 使えなくなった乾電池は本機から外しておく。
 - ・ 長時間ご使用にならないときは、乾電池を本機から外しておく。
- ※ 使用後の乾電池は火中に捨てないでください。一般のゴミとは分けて、定められた場所に捨てましょう。



YV1605J

音域	F33～F69(3オクターブ)
基準ピッチ	A442 Hz
音板材	超高力アルミニウム合金24S
音板幅・厚さ	39 mm・13 mm
音板仕上げ	マットシルバーアルマイト
共鳴パイプ	アルミニウム合金管・艶出しシルバーメタリック焼付塗装
枠	ブナムク材・黒色生地塗装
脚	スチールパイプ、黒色レザーサテン塗装(高さ調整式／取り外し可能)
ドライブユニット	YVM-200(ポーズ機能、DCブラシレス)
定格回転数	25～145 RPM
消費電力	4.7 W
電源アダプター	YAMAHA ACアダプター PA-3C (D.C. 12 V、700 mA + )
寸法	124(間口)×74(奥行)×80～88(高さ) cm
質量	40.5 kg
キャスター	φ75mmキャスター(ストッパー付)
バッテリーユニット	単3電池×10本使用

●ピアノの鍵盤との比較



※仕様および外観は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

YAMAHA CORPORATION

10-1 Nakazawa-cho, Naka-ku, Hamamatsu, 430-8650 Japan

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Group

© 2014 Yamaha Corporation

Published 08/2020

2020年8月发行

POTO-T1

WQ84190